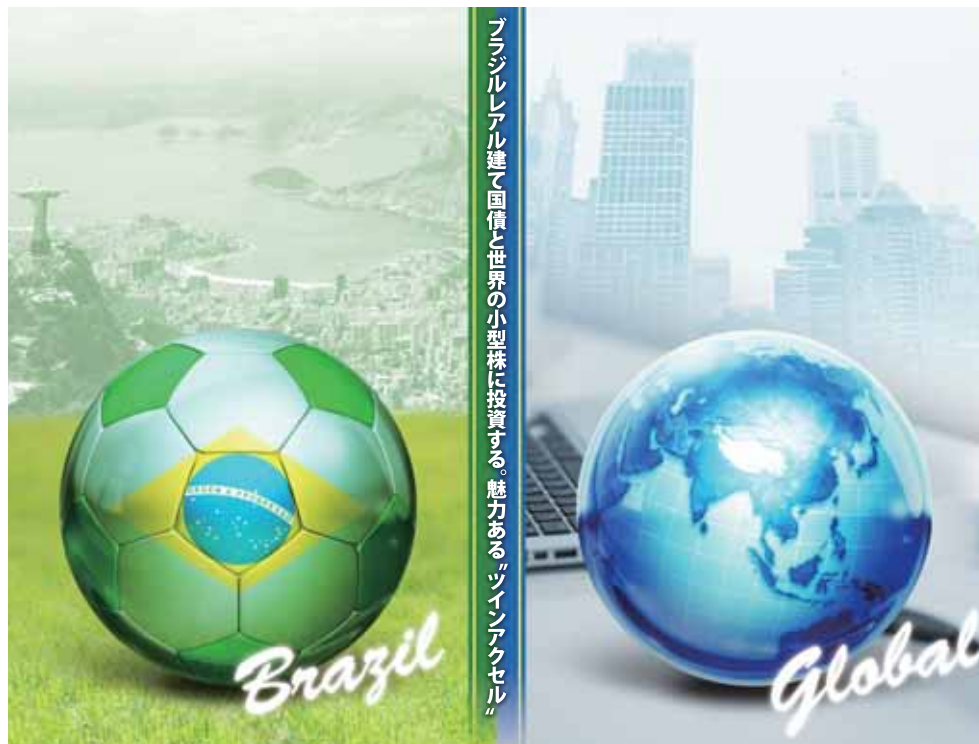


※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)《2021-01》



追加型投信／内外／資産複合

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

投資者の皆さまへ
(販売用資料)

目論見書のご請求・お申込みは…

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- MSCIインデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

(2013年8月)

ファンドのポイント I

ブラジル・リアル建てのブラジル国債および米国を除く世界の小型株式に投資します。

- ❖ ブラジル国債に投資する「アクセル①」で、満期償還時にブラジル・リアルベースでの当初投資元本の確保*をめざしながら、米国を除く世界の小型株式に投資する「アクセル②」で、積極的に株式の値上がり益等の獲得をめざします。

アクセル①

<ブラジル国債>



- 高金利で投資適格のブラジル国債に投資します。
- ブラジル国債のうち償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

安定 積極

60 %

40 %

ツインアクセル

アクセル②

<世界小型株式>
(米国を除く)



- 米国を除く世界の小型株式への投資にあたっては、小型株式において卓越した運用能力を誇るTCW・アセット・マネジメント・カンパニー（以下「TCW」）が運用を行ないます。

TCWについて

* 2013年3月末時点。
同月末の為替レートで円換算。

- 1971年にロサンゼルスで設立され、40年以上の歴史を有します。
- 約1,307億米ドル(約12兆円)*の運用資産を有します。
- 機関投資家、企業年金、個人投資家向けに資産を運用しています。
- ファンド評価機関から最高評価を得ているファンドを多く運用しています。

* 設定時における金融取引税の税率およびブラジル国債の利回りの水準、また、信託期間中のブラジル国債の利回りの推移によっては、満期償還時に、ブラジル・リアルベースで当初投資元本の確保ができない場合があります。※上図はイメージ図であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。※上記の比率はイメージであり、実際の投資比率とは一致しません。

※満期償還時、途中売却時等に、円ベースで当初投資元本が確保されるわけではありません。

※当ファンドは、債券、株式など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

※債券運用部分は、ブラジル・リアルベースでの元本確保が達成できたとしても、対円での為替の影響を受けるため、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

ファンドのポイントⅡ

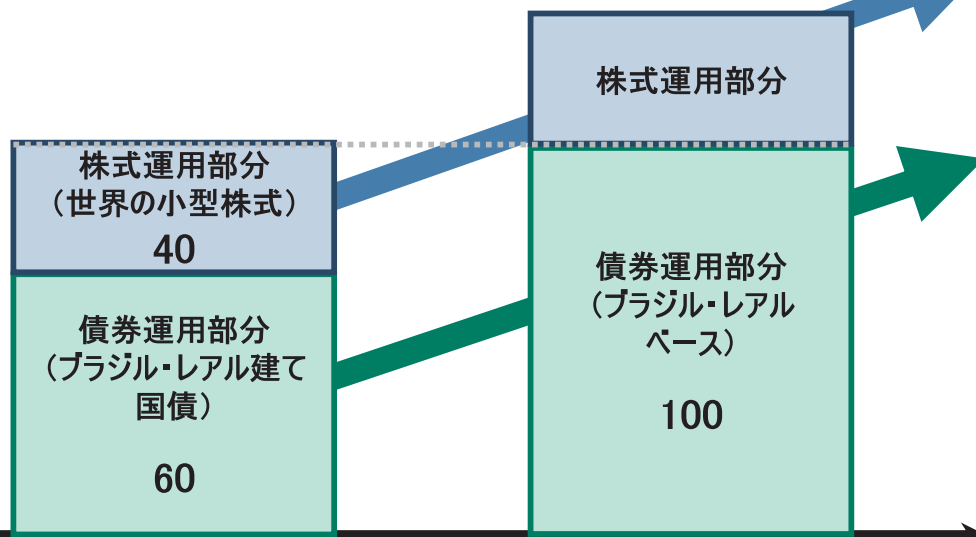
設定当初の債券と株式への投資比率は概ね6:4とします。

ツインアクセルとは

当初設定時

満期償還時(2021年1月)

当初投資元本=100
(ブラジル・リアルベース)



アクセル②

【収益アクセル】株式の値上がり益、配当等

投資妙味の高い、米国を除く世界の小型株式*に投資し、株式の値上がり益等の獲得をめざします。 *新興国を含みます。

アクセル①

【収益アクセル】債券の利息、利息再投資収益、債券の償還差益等

高金利で投資適格のブラジル・リアル建て国債に投資し、満期償還時にブラジル・リアルベースで当初投資元本の確保*をめざします。

【ご参考】2021年1月満期のブラジル・リアル建て利付国債データ(2013年7月末時点)
償還日: 2021年1月1日(約7年)、最終利回り: 約10.8%、クーポン: 10%(年2回利払い)、
格付け: A-(S&P)/Baa2(Moody's) (出所)ブルームバーグ

※利回りは、税金等諸費用を考慮しておりません。
※上記は、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄として紹介しています。
※上記はあくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドに今後組入れることを保証するものではありません。

※当初設定後、為替や株価の値動き等により、投資比率は変化します。
※為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額が一度でも15,000円を超えた場合、安定運用に入った後、繰上償還します。

※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

当ファンドのご購入の申込みは、平成25年10月3日までの間に限定して受付けます。

* 設定時における金融取引税の税率およびブラジル国債の利回りの水準、また、信託期間中のブラジル国債の利回りの推移によっては、満期償還時に、ブラジル・リアルベースで当初投資元本の確保ができない場合があります。※上図はイメージ図であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。※上記の比率はイメージであり、実際の投資比率とは一致しません。

※満期償還時、途中売却時等に、円ベースで当初投資元本が確保されるわけではありません。
※当ファンドは、債券、株式など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。
※債券運用部分は、ブラジル・リアルベースでの元本確保が達成できたとしても、対円での為替の影響を受けるため、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

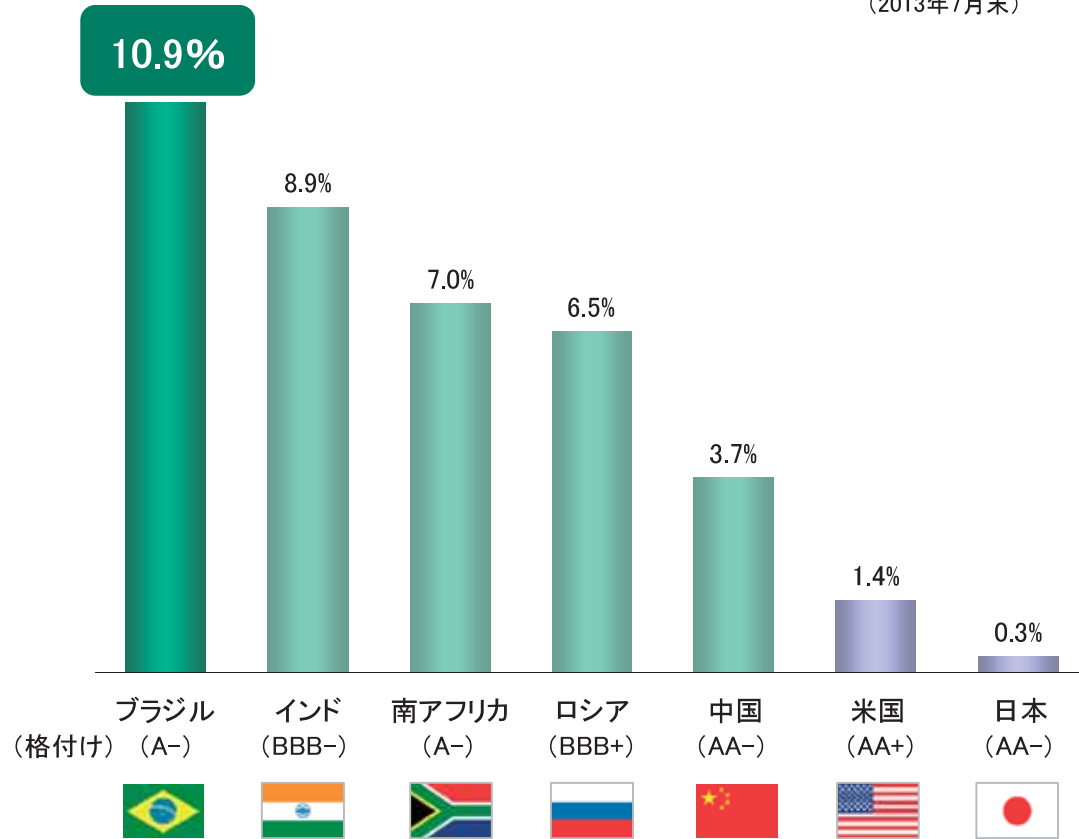
※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

高金利、投資適格のブラジル・レアル建て国債

- ❖ 新興国の国債利回りは日本や米国と比較して高く、中でもブラジルの国債利回りは10%を超える水準にあり、他の新興国国債と比較して高いものとなっています。
- ❖ ブラジルは2007年には純債権国に転換しており、外貨準備高も増加傾向にあります。堅調なファンダメンタルズを背景に2007年に投資適格となり、その後も格上げが続き2011年には「A-」になりました。

主要新興国および日米の国債利回りと格付け

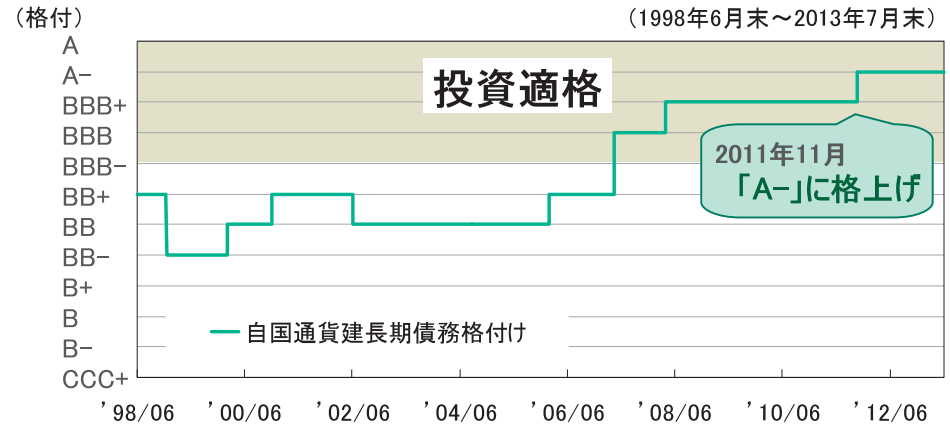
(2013年7月末)



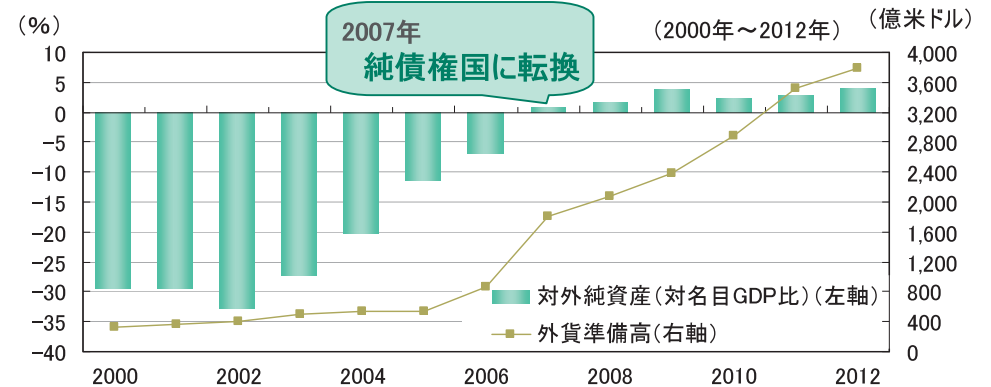
※残存期間5年程度の国債利回りを使用しています。格付けはS&Pの自国通貨建長期債務格付けを使用しています。
 ※外貨建資産には為替リスク等があります。
 ※税金等諸費用は考慮していません。

ブラジル国債のS&P格付け推移

(1998年6月末～2013年7月末)



ブラジルの対外純資産(対名目GDP比)と外貨準備高推移

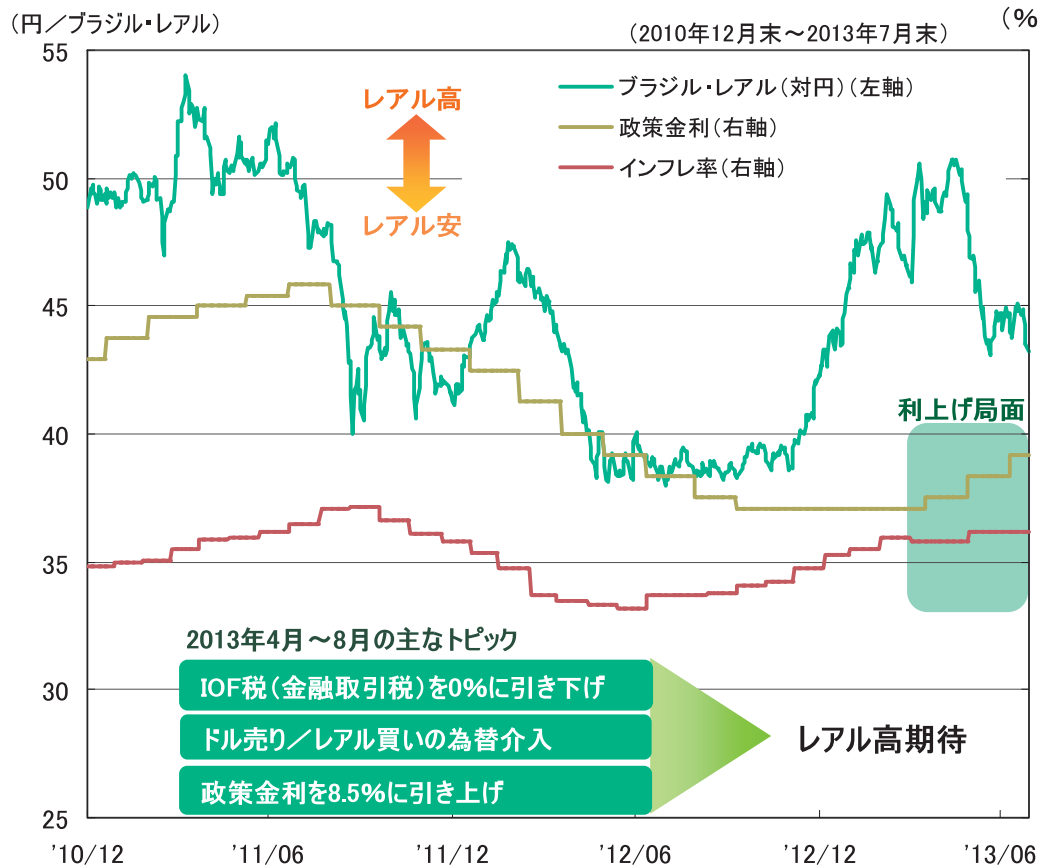


(出所)ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

戻りをうかがうブラジル・レアル

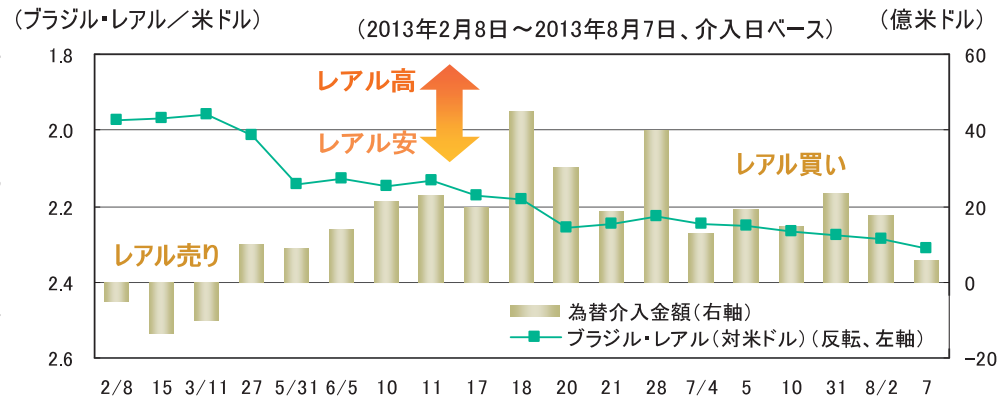
- ❖ 米国のQE3縮小観測からの資金流出、中国の不安定な経済状況、国内のインフレ率上昇懸念などからブラジル・レアルは調整しています。しかしながらブラジル政府および中央銀行は、IOF税(金融取引税)の引き下げ、政策金利の引き上げ、為替介入などを通じてレアルを下支えしており、今後のレアル高への反転期待が高まっています。
- ❖ 世界の株式が上昇する景気拡大局面においては、新興国への資金流入も活発になりブラジル・レアルも上昇が見込まれます。

ブラジル・レアル(対円)と政策金利・インフレ率の推移

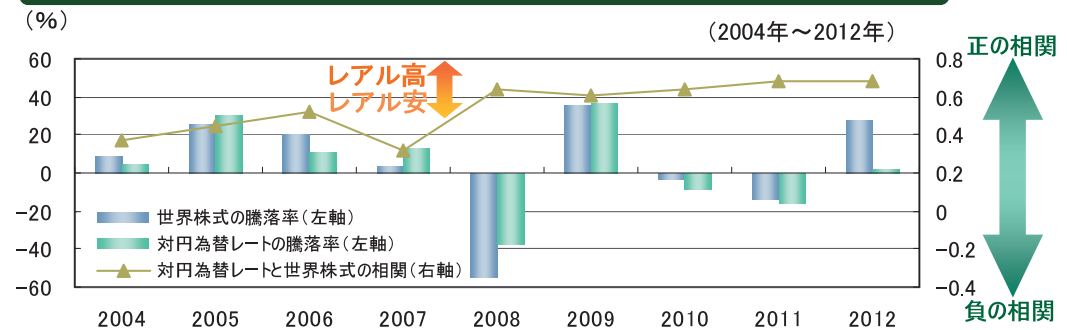


※IOF税とは、外国人投資家によるレアル建て債券投資等に伴う資金移動にかかる取引税をいいます。
 ※IOF税の引き下げについて、くわしくは14ページをご覧ください。

ブラジル・レアル(対米ドル)と中央銀行による為替介入推移



ブラジル・レアル(対円)と世界株式の年間騰落率と相関



相関とは、2つの異なるリターンにどれだけ関連性があるのかを示す数値です。
 -1から+1までの数値で表され、+1に近いほど似たような動きをしていたことを示します。

※世界株式:MSCI AC World Index(米ドルベース)
 ※相関係数は各年末における過去5年間の月次リターンにより計測。
 (出所)ブラジル中央銀行、ブルームバーグ、MSCI Inc.、各種資料

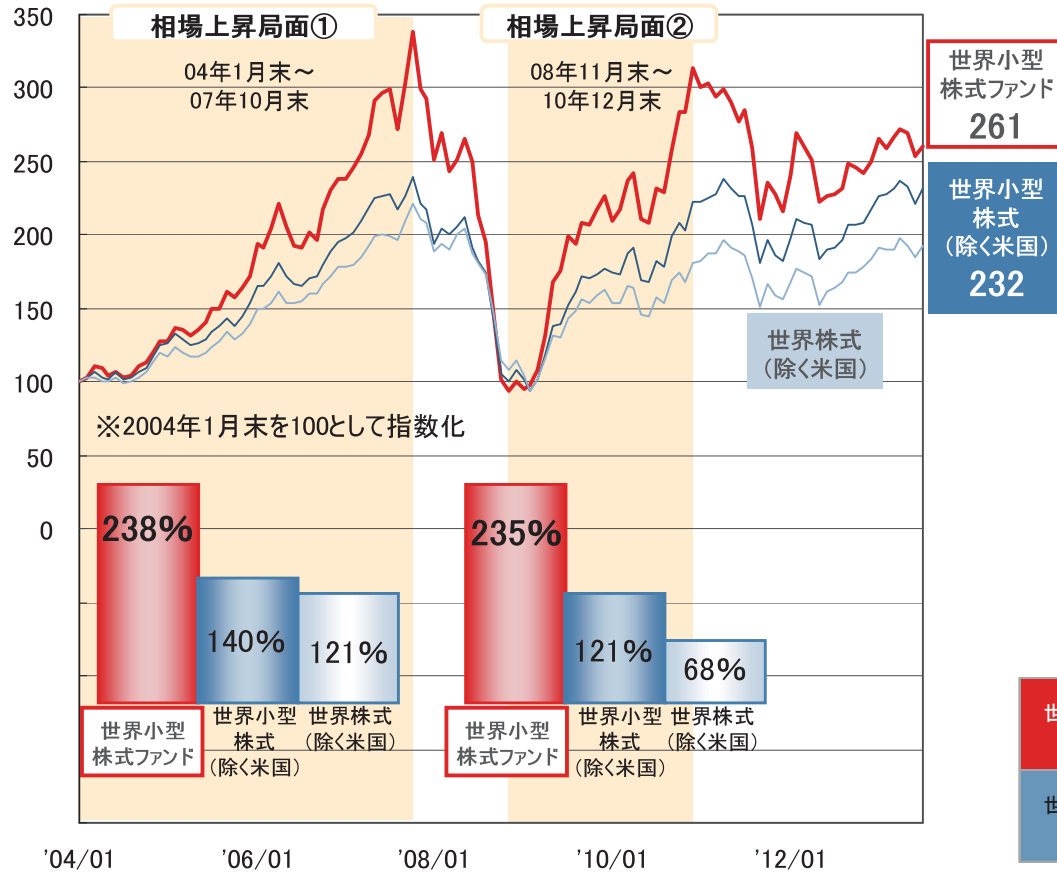
高いパフォーマンスを誇る「サー博士」の小型株式の運用実績

(注)「世界小型株式ファンド」は、当ファンドの株式部分と同様の運用方針で運用されている既存ファンドです。「世界小型株式ファンド」は、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。下記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

- ❖ アクセラ②の積極運用部分では、米国を除く世界の小型株式に投資します。
- ❖ TCWの「サー博士」が運用する世界小型株式ファンド(当ファンドの株式部分類似ファンド)は、特に相場上昇局面において大幅な上昇を記録しています。

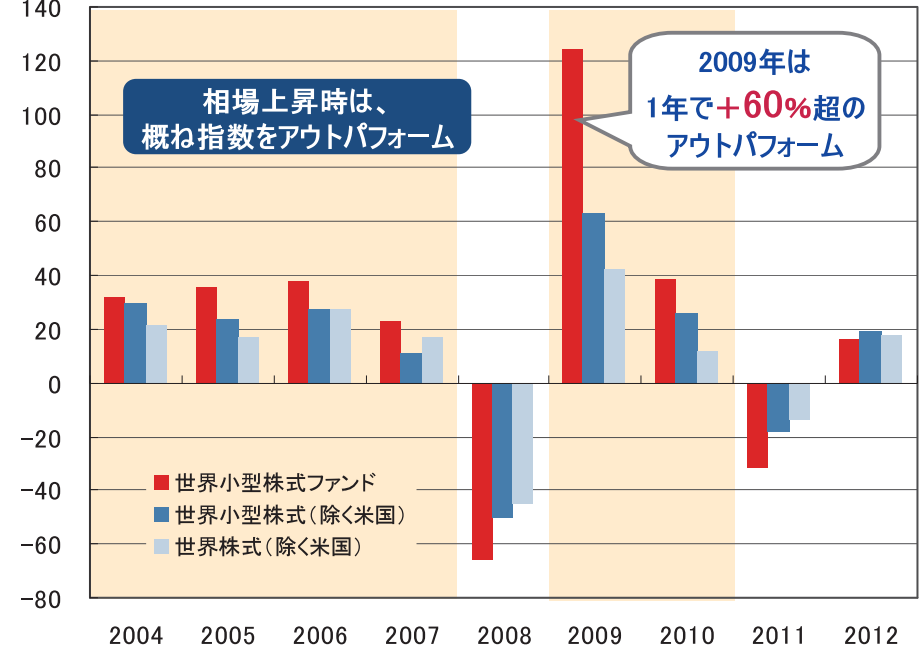
「サー博士」の世界小型株式ファンドの累積パフォーマンス

(2004年1月末(運用開始以来)～2013年7月末)



世界小型株式ファンドの年間騰落率

(%) (2004年～2012年)



世界小型株式ファンド	31.6%	35.4%	38.1%	22.8%	-65.5%	124.6%	38.9%	-31.4%	16.1%
世界小型株式(除く米国)	29.5%	23.3%	27.1%	11.1%	-50.0%	63.5%	25.6%	-18.2%	19.0%

※世界小型株式ファンド:サー博士が運用するTCW小型株式ファンド(米ドルベース)を使用。2011年2月までは、サー博士がオープンハイマー社にて運用を行っていた同種ファンドのデータを使用。

世界小型株式(除く米国):MSCI AC World ex US Small Cap Index(配当込み、米ドルベース)、世界株式(除く米国):MSCI AC World ex US Index(配当込み、米ドルベース)

(出所)MSCI Inc.、TCW

「サー博士」の小型株式運用の特色

❖ 「エコノミスト」と「エンジニア」という2つのバック・グラウンドを持つ運用担当者の「サー博士」は、「サイエンス(分析)」と「アート(感性)」を用いた独自の運用手法で、米国を除く世界の小型株式へ投資します。

運用担当者

ロヒ・サー博士



「エコノミスト」と「エンジニア」 多彩なバック・グラウンドを持つファンド・マネージャー

- インド工科大学カンプール校にて、機械工学士を取得。米国のコロンビア大学にて経済学の博士号を取得。
- バロンズ誌が選ぶ「米国のトップ100マネージャー」に2005年から4年連続選出。2005年からの3年間は30位以内。
- 2010年モーニングスターの「インターナショナルファンドマネージャー・オブ・ザ・イヤー」の候補5人のうちの一人に選出。

サー博士からのメッセージ

私の運用の基本となる考え方は、
「高い収益性と成長性を兼ね備える銘柄をいかにして発掘し、成長の初期段階から投資するか」です。
 そのためには、自分の目と耳で実際のビジネスの現場を確かめることが大変重要です。
 私にとって国境は意味がありません。投資のチャンスがあると思えば、
世界中のどこでも銘柄を発掘するために訪ねて行きます。
 世界で現在起こっているグローバル化の波は多くの変化をもたらし、興味深い投資チャンスを生み出しています。そして多くの場合、
そのチャンスを生かすことができるのは小型株企業である、と私は考えています。
 将来ブルーチップ*に成長するポテンシャルのある世界中の小型株を、私はこれからも探し出していきます。

*「ブルーチップ」とは、収益性や成長性に優れ、財務基盤も強固な優良企業の株式をいいます。

「サイエンス(分析)」と「アート(感性)」の融合による銘柄選定

—変化しつづけるこの世界から、**ダイヤモンドの原石**を見つけ出す—

サイエンス(分析)

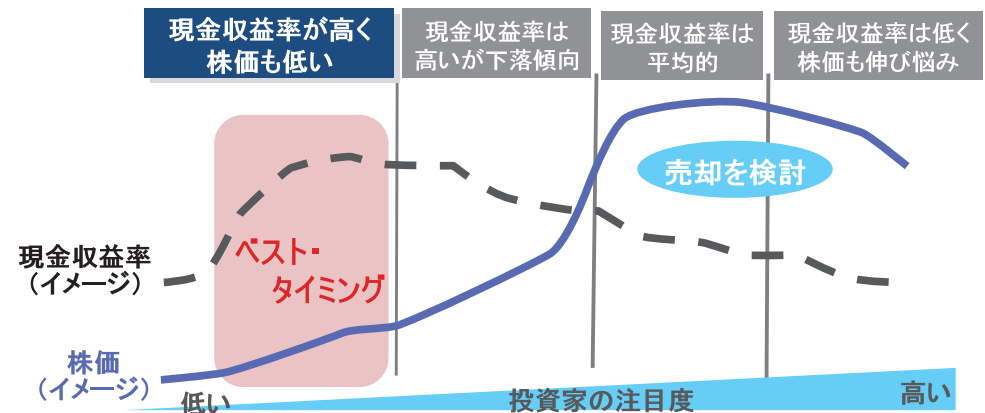
- 候補企業の事業国の綿密な経済分析
- 独自のチェック項目に基づく定量分析

アート(感性)

- 現地調査・訪問を通じ、自身の目と耳で感知
- 長年の経験や培った資質に基づき銘柄を発掘

「ベスト・タイミング」での投資イメージ

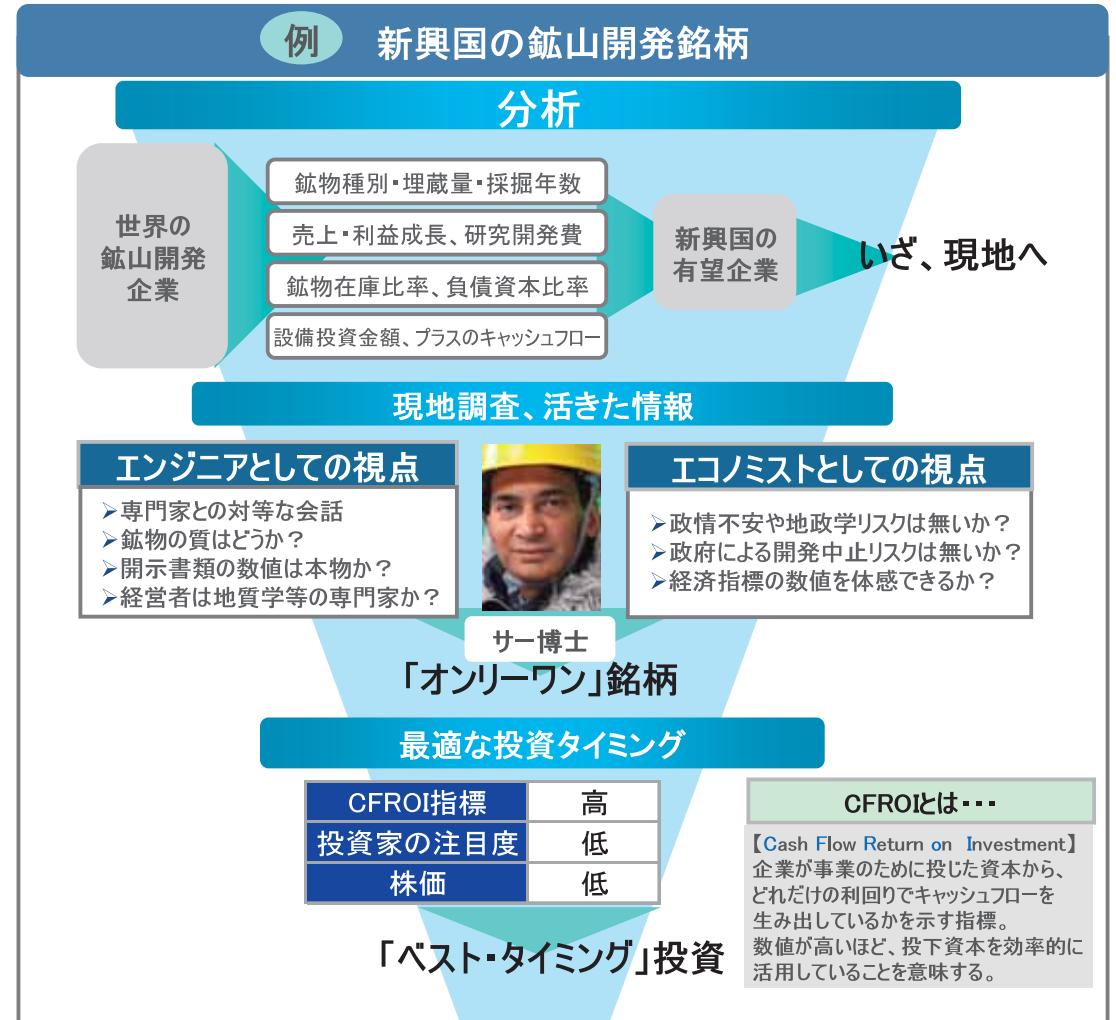
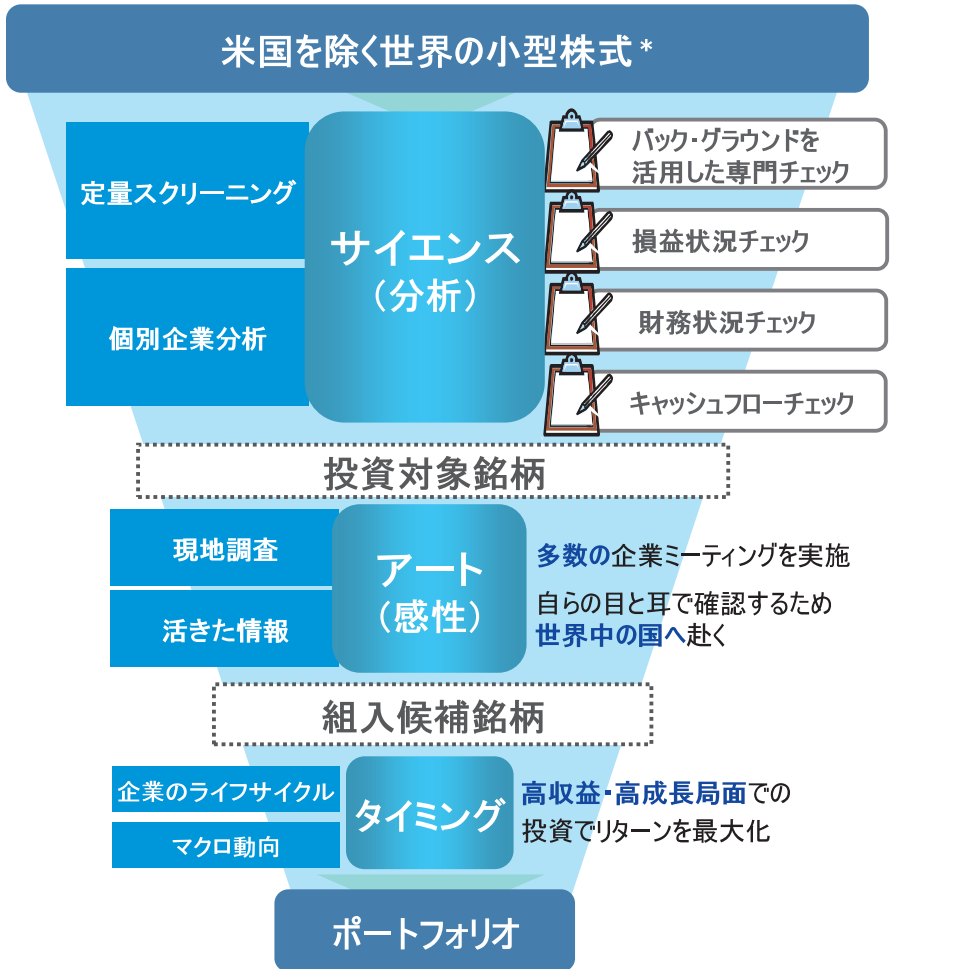
—現金収益率(キャッシュフロー)に着目、**旬のタイミング**を狙う—



※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆・保証するものではありません。(出所) TCW

「オンリーワン」銘柄に「ベスト・タイミング」で投資

- ❖ 「サイエンス(分析)」と「アート(感性)」を融合させた独自の銘柄発掘プロセスで「オンリーワン」銘柄*を発掘します。
- ❖ 特に新興国のマクロ経済状況や企業調査において、「エコノミスト」と「エンジニア」としてのバック・グラウンドをフル活用します。
- ❖ 高いリターンが期待できる局面での投資で、リターンの最大化をねらいます。 *「オンリーワン」銘柄とは、サー博士の銘柄発掘プロセスにより選定された銘柄群をいいます。



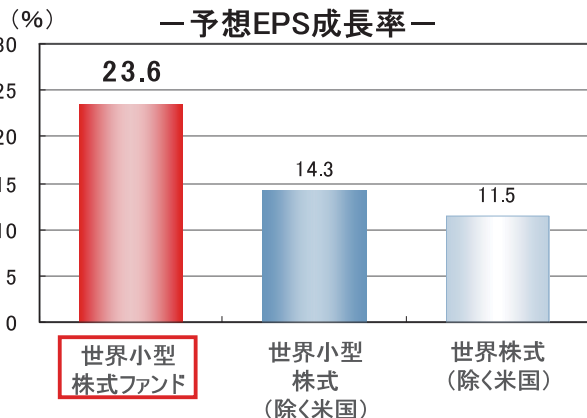
* 米国を除く世界の小型株式とは、米国以外に本社を置いている企業または主たる経済活動を米国以外で行なっているとTCWが判断した企業のうち、株式の時価総額が100億米ドル以下の企業が発行する株式をいいます。なお、これに該当しなくなった場合でも、当該銘柄を直ちに売却するわけではありません。上記の時価総額の基準は、今後変更されることがあります。

世界小型株式ファンドの概要（2013年7月末時点）

（注）「世界小型株式ファンド」は、当ファンドの株式部分と同様の運用方針で運用されている既存ファンドです。「世界小型株式ファンド」は、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。下記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ポートフォリオ特性値

銘柄数	72
PBR	1.7倍
平均時価総額	12億米ドル
予想EPS成長率	23.6%



※予想EPS成長率については、当該予想値が取得可能な銘柄の平均値を使用。

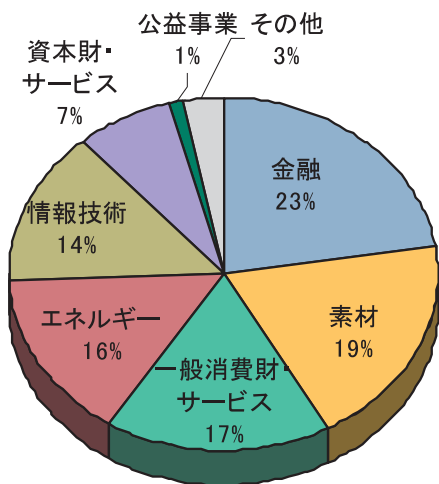
米国を除く小型株式はダイヤの原石

- 米国を除く世界の小型株式は、魅力的なバリュエーションにもかかわらず、米国の小型株式と比較して市場注目度が低いことなどから、潜在的な値上がり期待が高く、投資妙味が高いと考えられます。

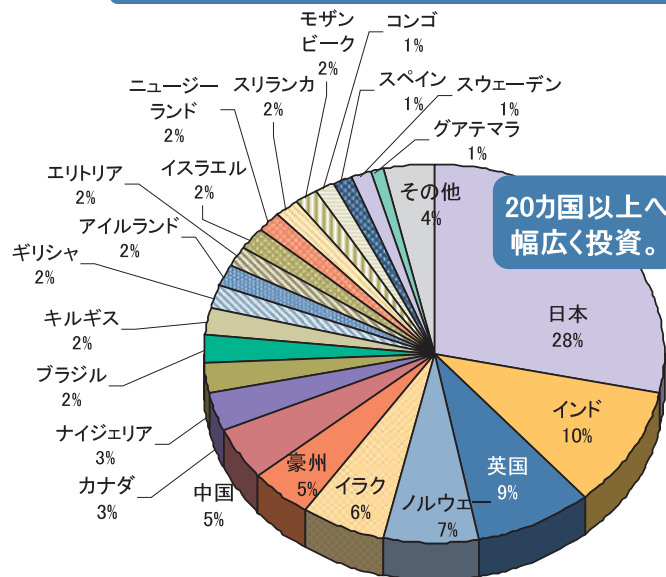
流動性の高い先進国市場を通じたフロンティア銘柄投資

- 保有銘柄の約6割は日本、カナダ、英国等の流動性の高い先進国の市場に上場しています。先進国市場に上場している銘柄を中心に、流動性や価格透明性を考慮しつつ、高い成長性が見込まれるフロンティア銘柄へ投資しています。

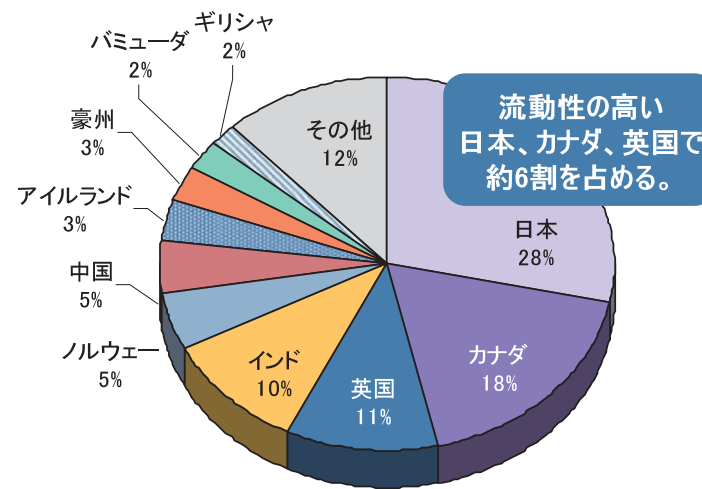
業種別構成比率



事業国別構成比率



上場国別構成比率



※業種別構成比率は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。※四捨五入の関係で、数値の合計が100%にならない場合があります。

※世界小型株式ファンド: TCW小型株式ファンド、世界小型株式(除く米国): MSCI AC World ex US Small Cap Index、世界株式(除く米国): MSCI AC World ex US Index

(出所) MSCI Inc.、TCW

「サー博士」の投資事例①

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

エキノックス・ミネラルズ

上場国:カナダ



事業国:ザンビア



業種:素材

- ザンビアのルムワナ銅鉱山での採掘を主要事業とするカナダの鉱山開発会社。
- 2011年にカナダの産金大手バリック・ゴールド社により買収(現在は上場廃止となっています。)



・写真はイメージです。

サー博士の投資行動

着目ポイント

- 同社保有のルムワナ銅鉱山の埋蔵量や30年以上という採掘可能年数が魅力。
- 開発責任者が既に豪州で開発に成功している点を評価。

現地調査

- 2009年3月、銅山の様子や経営状態を確かめるため**ザンビア**を訪問。
- 貧困地区の様子にショックを受け、銅山の開発により、多くの職が生まれることを確信。
- 経済発展のためにもザンビア政府が同社開発を妨げる可能性は低いことから、開発中止リスクは低いと判断。

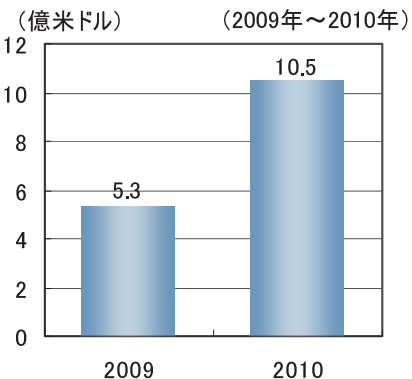
投資タイミング・成果

- 2009年: 1株1.8カナダ・ドルで新株発行時に投資開始。
- 2010年: 利益確定売却。3倍以上のリターンを獲得。

株価の推移



銅の売上高推移



主要銅鉱山の採掘可能年数

銅鉱山	所在国	採掘可能年数
ルムワナ鉱山	ザンビア	約33年
カンサンシ鉱山	ザンビア	約17年
エスコンディーダ鉱山 (世界最大の銅鉱山)	チリ	約20年

魅力的な採掘年数

(ご参考)

(出所) ブルームバーグ、TCW、各種資料

「サー博士」の投資事例②

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組み入れることを示唆・保証するものではありません。

MonotaRO (モノタロウ)

上場国・事業国:日本



業種:資本財・サービス

- 兵庫県に本社を置く事業者向け工場用資材の販売会社。
- 工場で使用される消耗品や部品、工具を主にインターネットを通じて販売。



サー博士の投資行動

着目ポイント

- 2011年当時、17%であったCFROI(投資に対する現金収益率)は、今後5年で25%まで上昇を続けると予想。
- 仮に競合他社が参入した場合、同社に並ぶポジションを構築するには、最低でも数年を要すると判断。
- 世界を見渡しても、これだけの成長力の企業は稀であると判断。

現地調査

- 2011年11月、本社を置く**兵庫県尼崎市を訪問**。
- 独自チェックリストに照らし合わせ、経営の効率性、会社運営の適切さを高く評価。
- 倉庫の中に本社を構えるその姿勢から、非常にコスト意識の高い企業であると実感。

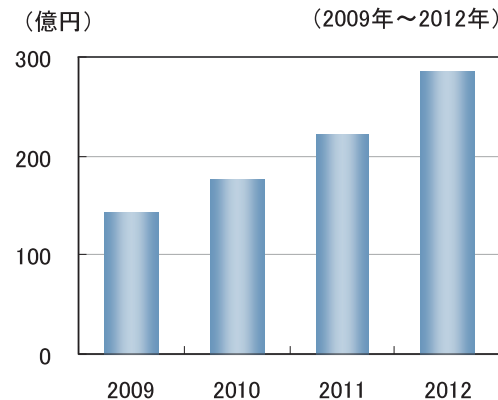
投資タイミング・成果

- 2011年:投資開始。
- 2012年:利益確定売却。2倍以上のリターンを獲得。

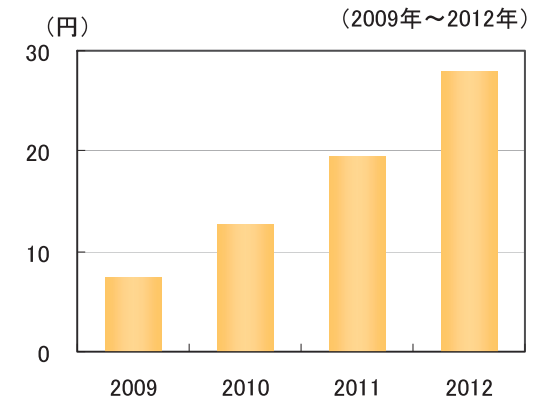
株価の推移



売上高の推移



EPS(1株当たり純利益)の推移



(出所) プルームバーグ、TCW

「サー博士」の投資事例③

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

トリボヴァンダス・ビムジ・ザベリ

上場国・事業国:インド



業種:一般消費財・サービス

- ムンバイに本社を置くインド有数の宝石小売チェーン。
- 主に、金・ダイヤモンド製品を取扱っている。



(出所)トリボヴァンダス・ビムジ・ザベリ

サー博士の投資行動

着目ポイント

- 今後10年程度にわたってインドの成婚率は過去最高レベルに達するとみられることから、インドの宝石・貴金属小売業は金需要の高まりによる恩恵が期待できると判断。
- “**インドのティファニー**”となる銘柄を発掘すべく、候補銘柄を選定。中でも同社の1平方メートル当たり売上高はティファニーよりも50%高く、在庫回転率はティファニーの1倍未満に対し同社は約3倍と高水準。

現地調査

- 2013年2月、ムンバイを訪れ、同社を含む5社の店舗を**覆面調査**。
- 金製品の専門家を伴い、一般の顧客として訪問。商品の品質、店員のサービス、法律の遵守状況(領収書の発行の徹底)などを確認。
- 同社店舗のきらびやかな装飾や多少値下げ交渉が可能な点などが、インド人女性の心をつかむと判断。

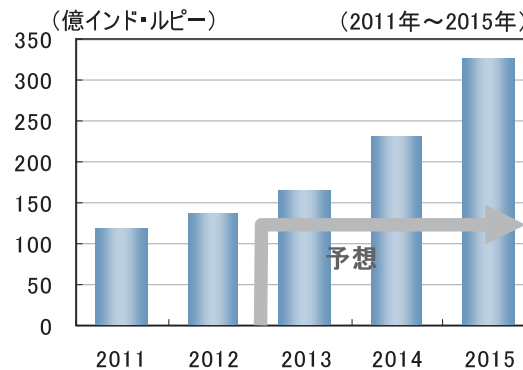
投資タイミング・成果

- 2013年:投資開始。今後の株価上昇に期待。

株価の推移

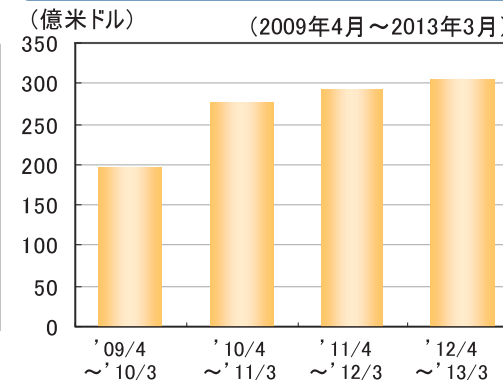


売上高の推移



※予想は、2013年7月時点

インドの宝飾金の年間需要



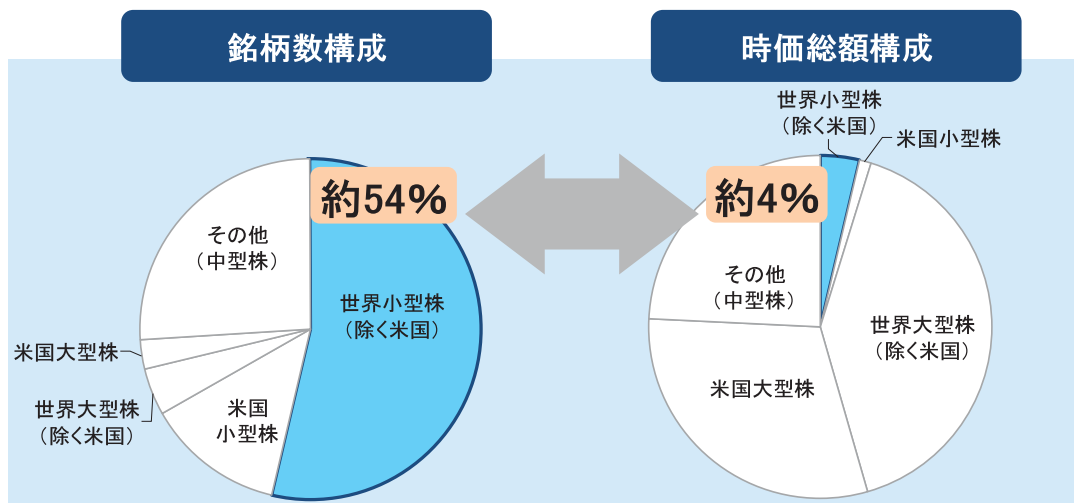
(出所)ブルームバーグ、ワールド・ゴールド・カウンシル、TCW

(ご参考) 大きなポテンシャルを秘めた世界の小型株式市場

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

- ❖ 銘柄数で見ると米国を除く世界の小型株は圧倒的な存在感を誇っているにもかかわらず、アナリストは十分にカバーしきれていません。
- ❖ 大きなポテンシャルを秘めているにもかかわらず割安なまま放置されている可能性があるため、市場の注目が高まる前に有望な銘柄をいち早く発掘・投資することにより大きなリターンが期待できます。

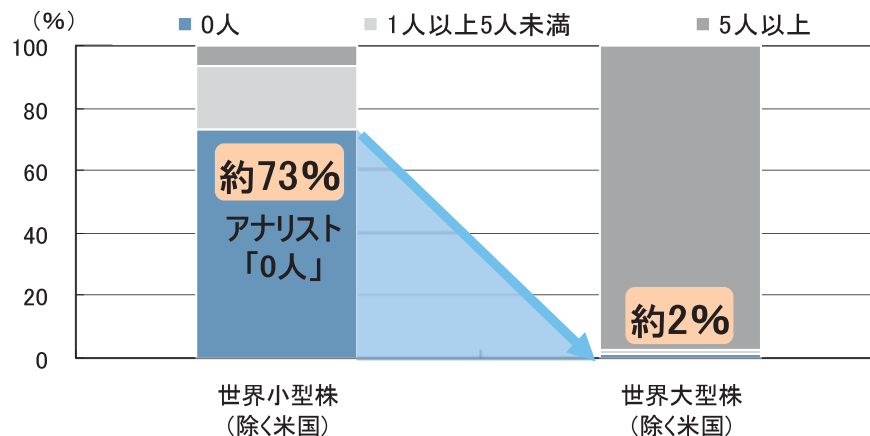
世界株式における銘柄数別・時価総額別構成



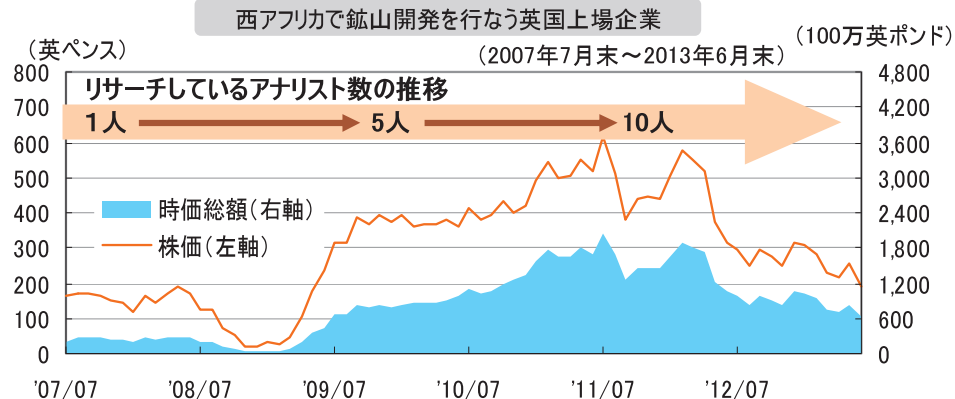
	銘柄数	時価総額
世界小型株 (除く米国)	約7,500	約2兆米ドル
米国小型株	約1,800	約0.6兆米ドル
世界大型株 (除く米国)	約600	約20兆米ドル
米国大型株	約400	約15兆米ドル
その他 (中型株)	約3,700	約12兆米ドル

※2013年6月末時点。小型株は時価総額10億米ドル未満、大型株は時価総額100億米ドル超、中型株は時価総額10億米ドル以上100億米ドル以下として集計。
 ※銘柄数・時価総額構成はMSCI AC World All Cap指数の構成銘柄に基づく比較。
 ※アナリスト数構成は米国を除く世界の株式市場の全上場銘柄に基づく比較。

小型株と大型株のアナリスト数構成



市場注目度が高まる前が投資のポイント 例: アフリカン・ミネラルズ

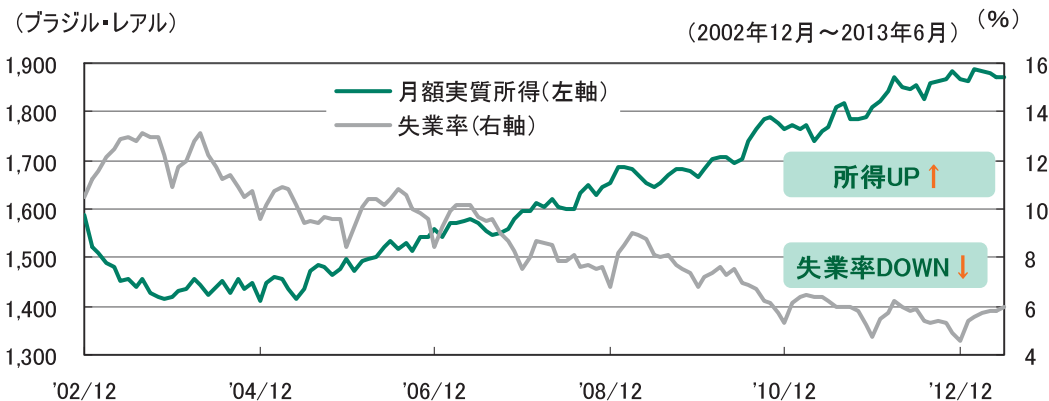


(出所)ブルームバーグ、MSCI Inc.

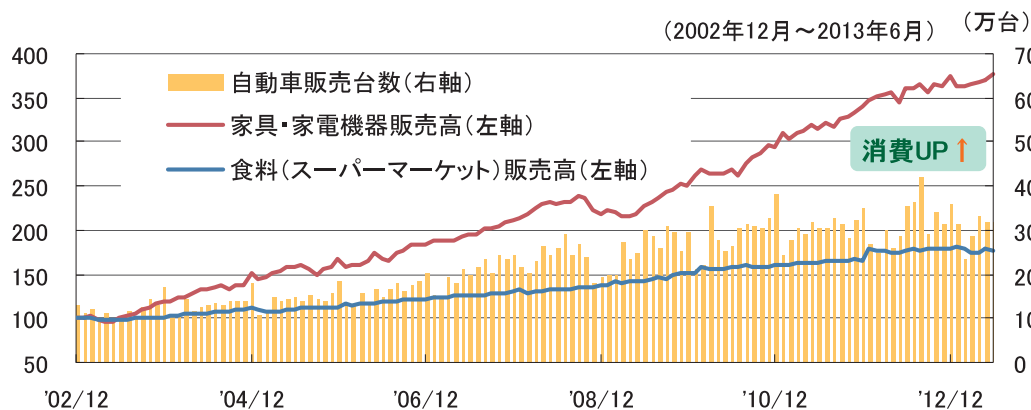
(ご参考) 堅調な内需を背景に中長期的な成長を見込むブラジル

- ❖ ブラジルは実質所得が増加傾向で失業率も低下傾向が続いています。また、政策支援もあり個人消費は依然底堅く、中長期的に力強い内需の成長が見込まれます。
- ❖ 今後は世界経済の改善に伴い、2014年サッカーワールドカップや2016年夏季オリンピック開催を背景に安定した経済成長が見込まれています。

ブラジルの実質所得(月額)と失業率

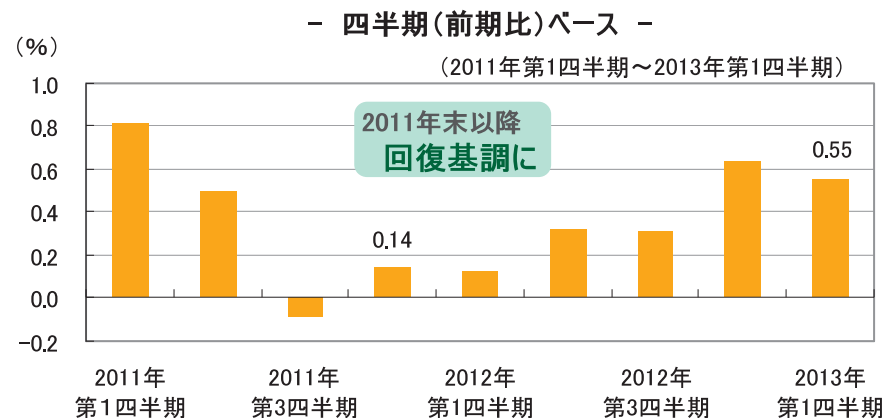
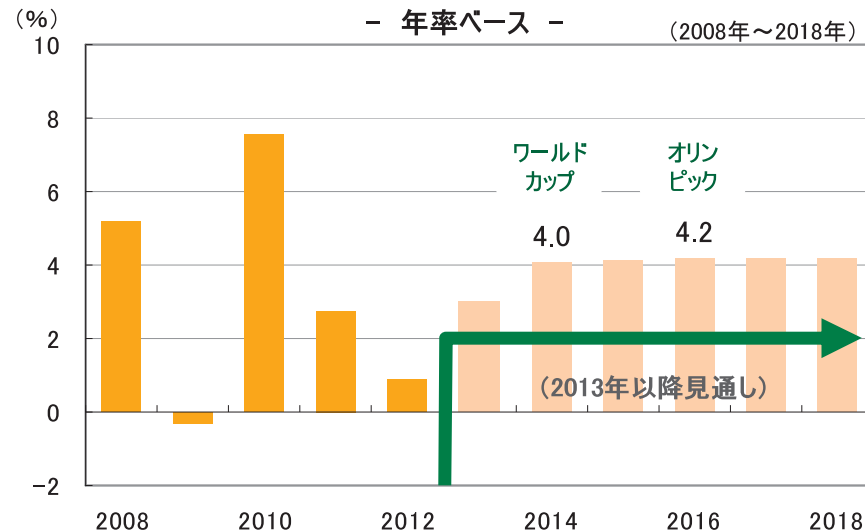


ブラジルの個人消費の推移



※「家具・家電機器販売高」および「食料(スーパーマーケット)販売高」は販売高指数を使用し、2002年12月末を100として指数化。

ブラジルの実質GDP成長率

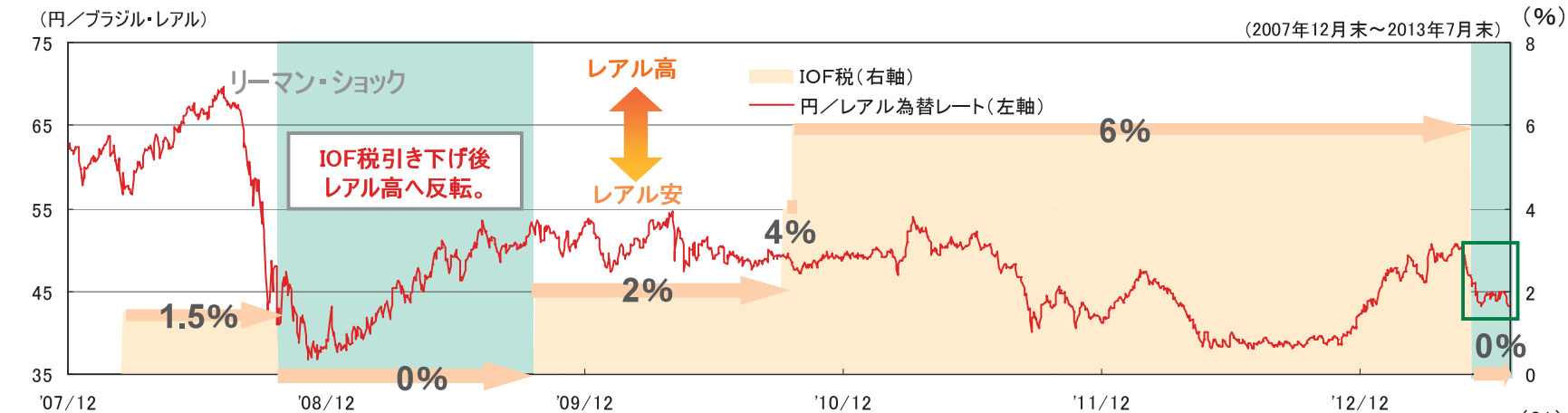


(出所)ブルームバーグ、IMF「World Economic Outlook Database April 2013」

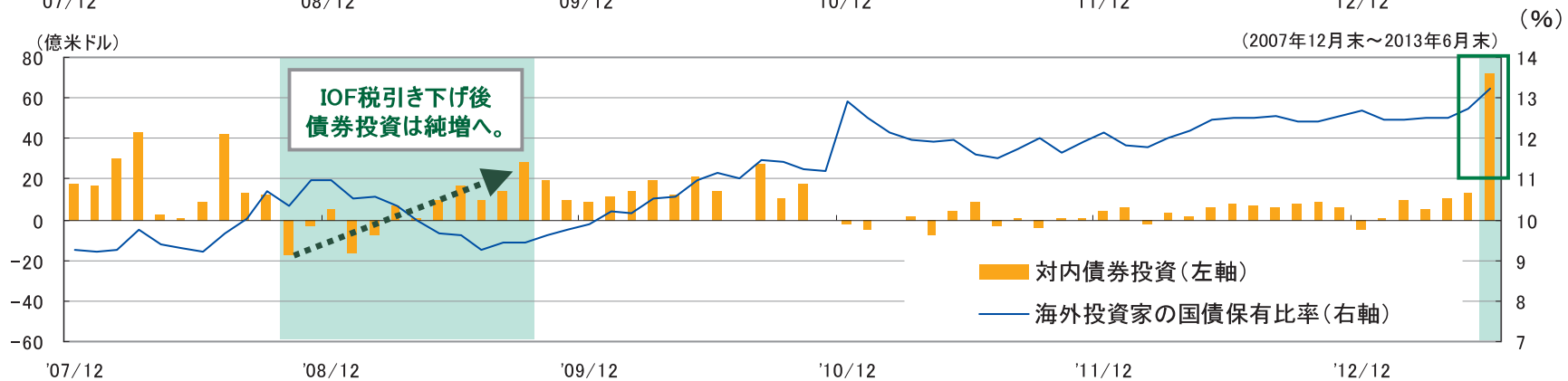
(ご参考) IOF税(金融取引税)引き下げにより、更なる資金流入期待高まるブラジル・レアル

- ❖ 2008年10月にIOF税を0%に引き下げた際には、レアル建て債券投資が純増に転じ、為替もレアル高へ反発しました。
- ❖ IOF税が再度引き下げられた2013年6月は、海外投資家からのレアル建て債券投資が顕著に伸びています。

	2008年3月～	2008年10月～	2009年10月～	2013年6月～
当局の狙い	レアル高抑制	金融危機への対応	レアル高抑制	過度の資金流入懸念の後退
IOF税の動向	IOF税を導入	IOF税を0%に引き下げ	IOF税を段階的に引き上げ	IOF税を再び0%に引き下げ



IOF税の引き下げ後
レアル安は一服。



(出所)ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

ファンドの特色①

1 ブラジル・リアル建てのブラジル国債および米国を除く世界の小型株式に投資します。

- ※「株式」にはDR(預託証券)を含みます。
- ※「米国を除く世界の小型株式」は、新興国を含みます。

2 設定当初の債券と株式への投資比率は概ね6:4とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。

3 債券への投資にあたっては、ブラジル国債のうち償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

4 株式への投資にあたっては、米国を除く世界の小型株式の中から、強い競争力と成長性を持つと判断される株式に投資します。

- 米国を除く世界の小型株式とは、米国以外に本社を置いている企業または主たる経済活動を米国以外で行なっているとTCWアセット・マネジメント・カンパニーが判断した企業のうち、株式の時価総額が100億米ドル以下の企業が発行する株式をいいます。なお、これに該当しなくなった場合でも、当該銘柄を直ちに売却するわけではありません。
- ※ 上記の時価総額の基準は、今後変更されることがあります。
- 実際の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行ないます。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

5 基準価額が一度でも15,000円を超えた場合、安定運用に入った後、繰上償還します。

- ※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
- (注) 基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。

6 当ファンドの購入の申込みは、平成25年10月3日までの間に限定して受け付けます。

◆ 分配について

毎年9月26日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき収益の分配を行ないます。

分配方針	① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等とします。 ② 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
------	---

ファンドの仕組み

- ◆ 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆ 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債および米国を除く世界の小型株式に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資対象ファンドの概要」をご覧ください。

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

- ◆ 当ファンドは、時価総額や売買高の点で規模が小さい世界の小型株式を組入れるため、大量の解約があった場合には、一時的に、比較的流動性の高いブラジル国債の売却で対応する場合があります。

ファンドの特色②（繰上償還の仕組みについて）

基準価額が一度でも15,000円を超えた場合、安定運用に入った後、繰上償還します。

※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

繰上償還の仕組み

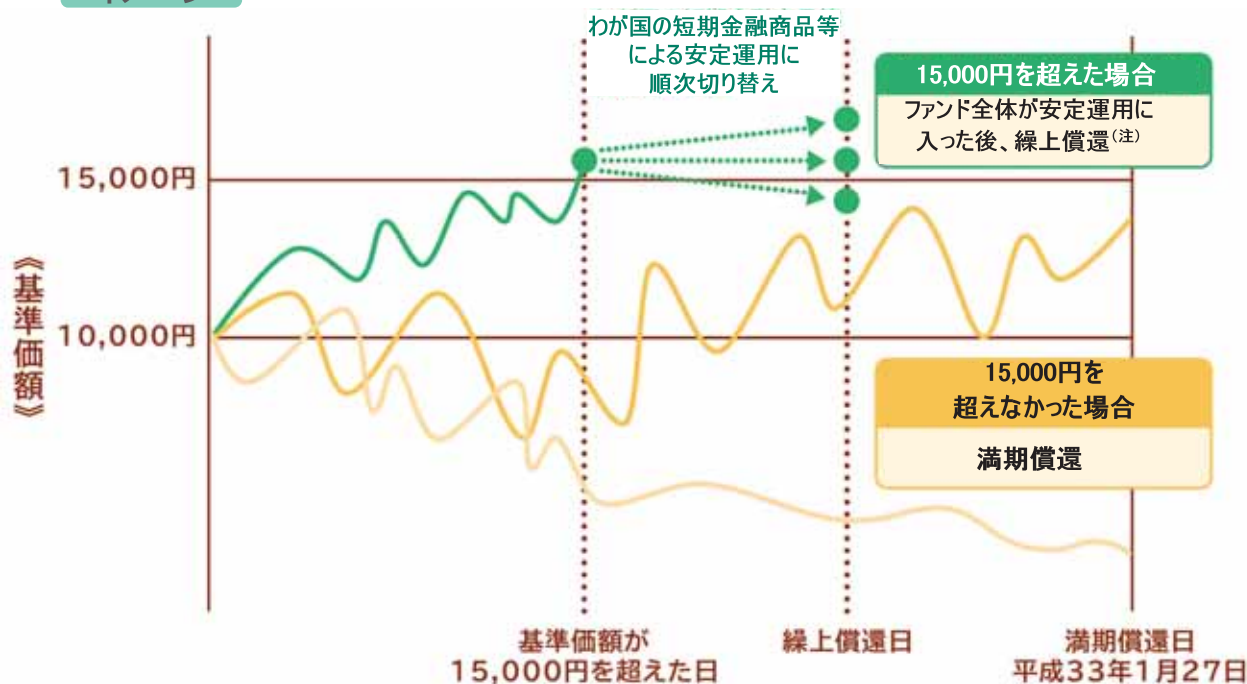
基準価額が一度でも
15,000円を超えた場合

わが国の短期金融商品等
による安定運用に
順次切り替えを行います。

ファンド全体が
安定運用に入った後、
繰上償還します。(注)

(注) 基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行いません。

イメージ



◎上記は当ファンドの償還について分かりやすく説明するためのイメージです。
上記は、当ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※安定運用への切り替えがすみやかに行なえない場合や、投資対象とする投資信託の償還等の処理に時間を要する場合などがあるため、基準価額が15,000円を超えてから繰上償還が行なわれるまで日数がかかることがあります。

※基準価額が15,000円を超えてから償還までの市況動向等により、基準価額もしくは償還価額が15,000円以下となることがあります。

※左記基準価額水準は、安定運用に移行する水準であり、当ファンドの基準価額が15,000円を超えることを示唆または保証するものではありません。

投資リスク



■ 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

主な変動要因	※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。
価格変動リスク・信用リスク	組入資産の価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
株価の変動	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。小型株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。
公社債の価格変動	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。新興国の公社債は、先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになると考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	イ. 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。 ロ. ブラジル国内債券投資に伴い、ブラジル・リアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課され、基準価額を下落させる要因となります。なお、平成25年7月末日現在、税率は0%です。 ※ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。

その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

ファンドの費用

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。



■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額に右記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数 (当初1万口=1万円)
信託財産留保額	ありません。

購入時手数料率

購入金額	手数料率(税込)
1億円未満	<u>3.150%</u>
1億円以上5億円未満	<u>1.575%</u>
5億円以上10億円未満	<u>1.050%</u>
10億円以上	<u>0.525%</u>

(ご参考) 口数指定で購入する場合

例えば、基準価額10,000円の時に300万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 300万口 = 300万円

購入時手数料 = 購入金額(300万円) × 3.15%(税込) = 94,500円

となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額309万4,500円をお支払いいただくこととなります。

金額指定で購入する場合

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、300万円の金額指定で購入する場合、指定金額の300万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、300万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して <u>年率1.3965%(税込)</u>
投資対象とする 投資信託証券	年率1.07%程度
実質的に負担する 運用管理費用	<u>年率1.8245%(税込)程度</u> (投資対象とする「TCWファンズ-TCW-インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド(日本円・クラス)」の投資比率を40%とした場合。実際の組入れ状況により変動します。)
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内債券投資に伴い、ブラジル・リアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。 なお、平成25年7月末日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの費用・税金」をご確認ください。

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

お申込みメモ



購入単位	当初申込期間:300万円以上1円単位*または300万口以上1口単位 継続申込期間:1,000円以上1円単位*または1,000口以上1口単位 * 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記の単位でご購入いただけます。				
購入価額	当初申込期間:1万口当たり1万円 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)				
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)				
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。				
申込受付中止日	①サンパウロ証券取引所、ニューヨーク証券取引所、ロンドンの銀行またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日 ②毎年12月24日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注)申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問い合わせください。				
申込締切時間	午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)				
購入の申込期間	当初申込期間:平成25年9月11日から平成25年9月26日まで 継続申込期間:平成25年9月27日から平成25年10月3日まで				
設定日	平成25年9月27日				
当初募集額	1,050億円を上限とします。				
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。				
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等)が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入の申込みを取消すことがあります。				
信託期間	平成25年9月27日から平成33年1月27日まで				
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> ● 委託会社は、基準価額(1万口当たり。既払分配金を加算しません。)が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切り替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。 ● 主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し繰上償還ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 受益権の口数が30億口を下回るようになった場合 ◆ 信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ◆ やむを得ない事情が発生したとき ● すべての受益者が換金の意思表示をした場合、繰上償還を行ないます。この場合、償還手続きに伴い、通常の換金よりも日数がかかる場合があります。 				
決算日	毎年9月26日(休業日の場合、翌営業日)				
収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。				
信託金の限度額	2,000億円				
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。				
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	受託会社	株式会社りそな銀行	販売会社	大和証券株式会社

※表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。